



土研新技術ショーケース
2026 in 東京 令和8年9月8日

「道の駅」の整備に関する ポイントブックシリーズ

寒地土木研究所 | 地域景観チーム | 研究員 | 上田 真代

「道の駅」 ポイントブックシリーズ



土研新技術ショーケース
2026 in 東京 令和8年9月8日

「道の駅」は、“**道路利用者の快適な休憩**”と“**地域の活性化**”を目的とした沿道の休憩施設であり、交流施設でもあります。さらに現在、「道の駅」は、社会インフラとして“**地域振興の重要な拠点**”や、“**災害時の一次避難場所**”としての共通認識を得ています。

しかし、これらの多様な機能を求められる「道の駅」の運営は容易ではないことから、地域の方がより良い形で運営に取り組めるようポイントブックを作成しました。

景観を活かし、観光施設となっている「道の駅」もあります。



道の駅小豆島オリーブ公園（香川県）

地元の農家が直接販売する新鮮な農産物は、人気があります。



道の駅あびらD51ステーション（北海道）

地域への移住に関する窓口を設け、空き家情報等を発信している「道の駅」もあります。



道の駅ましこ（栃木県）

海外展開に向けた 「道の駅」ハンドブック



土研新技術ショーケース
2026 in 東京 令和8年9月8日

「道の駅」の目的やコンセプト、提供されるサービスや地域への効果について概論的に解説するものです。

設置や運営に取り組む関係者にむけて、「道の駅」制度のあらましや、「道の駅」のつくり方、効果や運営手法について全般的に把握できるようにまとめています。



2021年9月改訂

■世界に広がる「道の駅」

「道の駅」は、道路交通を道路沿線地域の開発に繋げるユニークなモデルとして他の国にも高く評価され、近年海外でも日本の「道の駅」をモデルとした沿道施設「**Michi-no-Eki**」が広がっています。そこで、海外で「**Michi-no-Eki**」の設置や運営に取り組む関係者が日本の「道の駅」の概要を学べるよう、日本語版のほか、英語版、スペイン語版、フランス語版、ロシア語版のハンドブックを作成しました。

これらは、JICA北海道が実施する中南米諸国向けの「道の駅」研修教材として用いられています。この研修の成果として、2024年にパラグアイに2つの「**Michi-no-Eki**」が開設されました。

パラグアイに「Michi-no-Eki」が
開設されました（2024年）



Michi-no-eki Yguazu（パラグアイ）
※出店：道の駅 Yguazu Facebook

「道の駅」の防災向上のポイント

「道の駅」が実際に災害時に利用された事例調査などを基に、「道の駅」に求められる**災害時の役割と対応事例**、また**平時機能を活かした効率的な防災機能向上策**について取りまとめました。

■災害時における「道の駅」の役割



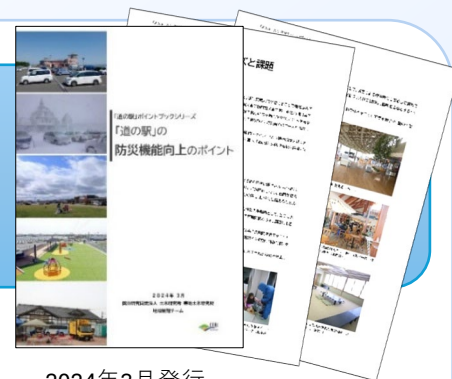
道の駅メルヘンの丘めまんべつ（北海道）
※国土交通省北海道開発局提供

「道の駅」は災害時における緊急避難や一時待機、情報入手場所として、とても大切な役割を担っています。そのため、防災拠点としての位置づけの有無に関わらず、**道路利用者の緊急避難場所となることを想定しておくことが重要です。**

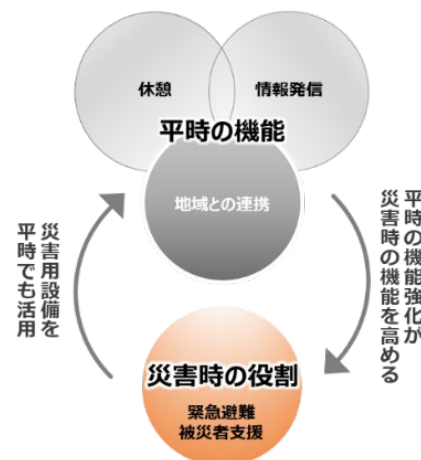
オホーツク暴風雪災害（2013年）では、走行困難になった多くの車両が避難場所として駆け込みました。

■平時の機能を活かした防災機能向上策

「道の駅」の災害用設備を平時でも活用するようにすれば、いざという時にうまく活用されないリスクや運営の負担を軽減することも可能となります。一方で、災害時に求められる機能は平時の機能そのものであり、日常的な機能の強化が災害時の機能を高めることに繋がります。このような**フェーズフリー**の視点を取り入れることが重要です。



2024年3月発行



「道の駅」における
フェーズフリー概念図

産業関連表に基づく「道の駅」の 経済波及効果算定のポイント【試行版】



土研新技術ショーケース
2026 in 東京 令和8年9月8日

「道の駅」の整備・運営の改善に向け、様々な**社会的効果・経済的波及効果のうちの一つの指標**として、「産業関連表に基づく経済波及効果」を簡易に算定する方法について紹介します。これは、様々な社会効果や経済効果のうちの一部にすぎませんが、客観的評価指標として活用が可能となるよう期待しています。

2023年10月改訂



■「道の駅」の経済波及効果

「道の駅」の整備により、利用者だけでなく、「道の駅」関係者や地域にも直接的・間接的に様々な効果があり、ドライバーや同乗者のリフレッシュ・疲労回復、沿線観光の安全性・魅力の向上などの社会的効果や、地場特産品の生産増、地域の所得・雇用増などの経済効果にも波及します。

「道の駅」の経営評価において、事業収益性の観点のみ評価がされている場合、必ずしも地域振興への寄与の程度を評価することはできません。一方、産業関連表に基づき算定された経済波及効果では、**地域内で循環する経済的規模の大きさを把握することができるため**、地域活性化への貢献度を評価する客観的評価指標としての活用が期待できます。

地域景観チームのWEBサイト

<https://scenic.ceri.go.jp/manual.htm>



「道の駅」の整備に関するポイントブックシリーズは、地域景観チームのWEBサイトからダウンロードできます